

卒業生からのメッセージ



結束 美友さん
(下妻市立千代川中学校卒)

順天堂大学 医療看護学部 看護学科

下妻二高の魅力は、先生方の手厚いサポートだと思います。特に担任の先生は、よく相談に乗ってくださいました。ボランティア活動や大学の高校生向けのイベントの紹介をしてくださる時もありました。その時の経験が、進路選択や自分を見つめ直すことに役立ったと感じています。更に、英検や入学試験の面接指導もしてくださいました。先生方の的確なアドバイスののおかげで、英検や入学試験を乗り越えることができました。

また、生徒も、部活動や勉強など、自分のやるべき事に一生懸命に取り組んでいます。部活動で活躍して表彰されている姿や、朝早く学校に来て自習をしている姿に感銘を受け、私も部活動や勉強に一生懸命取り組みようと思うようになりました。特に、定期考査や小テストへの取り組みは素晴らしく、私は何度も悔しい思いをしましたが、それが勉強を頑張る理由にもなっていたと考えています。

みなさんも下妻二高で充実した高校生活を過ごしてみませんか。



大竹 宥羽さん
(下妻市立下妻中学校卒)

東京薬科大学 薬学部 薬学科 男子部

進学先を決定するうえで、下妻二高は自分にとって、とても大きな影響を与えてくれたと思います。それは、自分が薬学部進学を目指すという高い目標を否定することなく、真摯に向き合ってくれた先生たちがいたからです。また、その経験は薬剤師になりたいという思いがより一層強くなった理由の一つでもあり、下妻二高の強みであると思います。

受験期は、授業以外にも昼休み、放課後を利用して、わからない問題の解法を丁寧に教えてくれました。それ以外にも、一般入試に向けて勉強の追い込みをかける人たちに、良い環境づくりをしてくれたクラスの雰囲気にも助けられました。私が薬学部進学を実現できたのも、この学校に進学したからだと思います。

下妻二高への進学は、自分自身大きく成長でき、受験期を通して自身の殻を破るきっかけともなりました。是非皆さんも、自身の可能性を広げるチャンスがあると思って、素晴らしい環境のもとで、勉強を頑張ってください。皆さんの明るい未来を応援しています。



淀縄 一華さん
(筑西市立明野中学校卒)

茨城県立医療大学 保健医療学部 作業療法学科

下妻二高は、文武二道を目標として掲げており、部活動も勉強も全力で取り組むことができる高校です。1年を通して文化祭やクラスマッチなどの様々な学校行事があり、クラスの絆を深め、楽しい思い出を作ることができます。

また、サテライト室や自習室など、勉強する環境が整っているため、テスト前や受験期には集中して勉学に励むことができます。面談で先生と進路について話す機会が多く、サポートも充実しています。休み時間や放課後には、進路相談や、面接の練習にも力を注いでくださいました。私が志望校に合格することができたのは、下妻二高の先生方が支えてくださったのおかげです。

下妻二高は、自分の目標に向かって努力することができる学校です。大学に進学するだけでなく、就職にも力をいれています。私も、作業療法士になるという夢を叶えるために努力し、たくさんの先生方に支えられて、夢への第一歩を踏み出すことができました。皆さんもぜひ、下妻二高で充実した学校生活を送ってください。



児矢野 玲奈さん
(古河市立三和北中学校卒)

立教大学 社会学部 社会学科

下妻二高の魅力は、部活と勉強の両立ができることだと思います。運動部と文化部、どちらも盛んで、部活動に励みながら勉強にもしっかり取り組んでいる生徒がたくさんいます。また、文化祭やクラスマッチなどの学校行事は毎年盛り上がり、クラスや学校全体の団結が深まります。

学習面では、先生方が生徒一人ひとりの進路に合わせて親身に相談に乗ってくださいます。私自身も、先生方の手厚いサポートや支えてくれた友人のおかげで受験を乗り越えることができました。

下妻二高で過ごした3年間で、たくさんの出会いがあって、自分の考え方が大きく変わり、充実した学校生活を送ることができました。皆さんも是非、下妻二高で素敵な高校生活を送ってください。



保科 千秋さん
(八千代町立東中学校卒)

茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程

下妻二高は先生方が手厚いサポートをしてくださる学校です。先生方は進路のサポートに加えて、私生活で悩んでいることがあった場合にもサポートしてくれます。

私は、進路がはっきりと定まらなかったのですが、先生方が沢山の資料や情報や分析をしてくださり自信を持って受験をすることができました。また、気軽に話しかけてくださるので、相談がしやすい環境でした。色々な話ができるので充実した高校生活を送ることができます。

それに加えて、下妻二高は友達ができやすい環境にもあります。一般クラスと特進クラスに分かれていますが、文化祭や体育祭、クラスマッチなどたくさんの行事があるのでクラスの壁を越えて仲を深めることができます。私が3年生だった頃はコロナ禍だったので学年ごとに行事を企画してくれたおかげでたくさんの友達ができました。

下妻二高はこれからの人生に必要なコミュニケーション能力を育てることができる場であると思っています。皆さんも下妻二高で充実した高校生活を送ってください。



會田 響さん
(つくば市立大穂中学校卒)

土浦市役所

下妻二高の魅力は、様々な進路に対して抵抗なく向かうことができるということです。完全な進学校ではないので、生徒全員が多様な将来の目標を持っており、進学するもよし、就職するもよしと、色々な選択をすることができます。進路が決まらない悩みを抱えていた私にも、様々な可能性を提示してくれました。特進クラスに進めば、勉強に対して生徒同士で協力し、集中できる環境を作り上げることができます。

高校時代の思い出は、部活動に熱中していたことです。二年生のころは部活動しかしていないんじゃないかというくらいそれしかしていませんでした。部活以外にも、体育祭やクラスマッチ、文化祭など、様々なイベントに友達と協力しながら臨めるので、すべてのイベントが楽しかったです。

進路について考え始めたのは一年の後半からでした。公務員の勉強はほとんど中学生、高校生の総復習のようだったので、定期考査との両立がしやすかったです。本格的に取り組んだのは二年生の後半からで、勉強をしながらも部活やイベントに力を入れやすい学校でした。

笑顔がはじける、妻二の

4月

- ・始業式
- ・入学式



5月

- ・PTA総会
- ・生徒総会



6月

- ・前期中間考査
- ・文化祭
(隔年実施)



7月

- ・野球応援
- ・オーストラリア
語学研修



8月

- ・学校説明会

9月

- ・前期末考査
- ・クラスマッチ
- ・生徒会役員選挙
- ・前期終業式



国際理解教育 — オーストラリア語学研修プログラム —

下妻二高では、国際理解教育の一環として、オーストラリア語学研修プログラムを実施しています。毎年参加生徒は、現地で生きた英語を学び、多くの刺激を受け、充実した時間を過ごしてきました。